

状と働く人の意識

休暇が取れた場合の活動

休暇が取れた場合にどのような活動を行うかは、休暇の長さによって活動内容に明確な差が見られます。長期の休暇が有意義なものとして定着するためには、家族を含めて過度の費用負担を伴うことなく充実して過ごせる「受け皿」が必要であると考えられます。

休暇期間別の活動したい内容



(資料出所) 三和総合研究所「長期休暇に関する労使の意識調査」

休暇

秋

ハッピーマンデー
(体育の日)

冬

年末年始休み

休暇の効用を発揮するためには、計画的にまとまった日数の休暇が(Life)を考える契機となるような長期(Long)の休暇であるエルL休暇

2週間程度の 休暇

土・日曜日と年次有給休暇
とを組み合わせた2週間程
度の休暇を目標

- そこに至るステップとして、1週間程度のものに分けることも含め、まとまった日数の休暇を実現



時期の 分散化による 質の高い休暇

業務遂行との両立に配慮し
つつ、休暇の分散化を図る
ことにより、休暇中の渋滞、
混雑を緩和し、休暇の「品質」
を高めます。

